

第27回研究発表大会

大会テーマ:博物館の社会的役割を考える～持続可能性の視点から

口頭発表詳細

日 時 : 令和2年2月14日(金) 9:30～14:45

【会場A】(オーテピア4階 ホール)

- 9:40～ 研究発表① 気象災害の軽減に向けて
〔磐梯山噴火記念館 佐藤 公〕
- 10:00～ 研究発表② 福島県における人材育成科学講座の事例報告
〔福島県環境創造センター 淵上 修平〕
- 10:20～ 研究発表③ 教員有志と科学館・自然史系博物館の協力による地学普及イベント
「こどものためのジオ・カーニバル」の紹介
〔大阪市立自然史博物館 石井 陽子〕
- 10:40～10:50 《 休 憩 》
- 10:50～ 研究発表④ 科学館の展示と日常を繋ぐフィールドワークとサイエンスナビへの
情報集積が可能にする深化し続ける展示
～フィールドワーク「水を知る旅に出よう」を例に～
〔福岡市科学館 針谷 亜希子〕
- 11:10～ 研究発表⑤ 水草調査を通じた地域連携に果たす博物館の社会的役割
〔千葉県立中央博物館 林 紀男〕
- 11:30～12:00 《 ポスターセッションコアタイム 》
- 12:00～13:00 《 昼 食 ・ 休 憩 》
- 13:00～ 研究発表⑥ 国立科学博物館による「博物館ネットワークによる未来へのレガシー
継承・発信事業」の成果とこれから
〔国立科学博物館 小川 達也〕
- 13:20～ 研究発表⑦ 地方都市における科学館の役割のモデリング
～DBO方式のリニューアルを通じた一考察～
〔浜松科学館 藤江 亮介〕
- 13:40～ 研究発表⑧ 科学館における有償ボランティアの導入と課題
—福岡市科学館サイエンスキャストを例に—
〔福岡市科学館 龍興 彩香〕
- 14:00～ 研究発表⑨ MDPPと自然史系博物館の将来の機能
〔大阪市立自然史博物館 佐久間 大輔〕
- 14:20～ 《 休 憩 》
- 14:30～ 《 総 括 》

【会場B】（オーテピア4階 研修室）

- 9:40～ 研究発表① 生物多様性をテーマにした科学教室実施について
〔東京工業大学博物館 宮前 知佐子〕
- 10:00～ 研究発表② 誰もが質の高い教育を受けられる社会を目指して
〔はまぎん こども宇宙科学館 吉武 聡史〕
- 10:20～ 研究発表③ 教員を対象にしたSDGs研修の実施
〔千葉県立中央博物館 平津 知宏〕
- 10:40～10:50 《 休 憩 》
- 10:50～ 研究発表④ 持続可能な社会における科学系博物館の新たな使命
～サイエンスリテラシーの向上を目指して～
〔千葉市科学館 後藤 美月、新 和宏〕
- 11:10～ 研究発表⑤ 外来生物問題をどのように伝えるのか？地域博物館の取り組み
〔神奈川県立生命の星・地球博物館 加藤 ゆき〕
- 11:30～12:00 《 ポスターセッションコアタイム 》
- 12:00～13:00 《 昼 食 ・ 休 憩 》
- 13:00～ 研究発表⑥ 伝える^{すべ}術を磨く～展示解説のあり方に関する考察～
〔神奈川県立生命の星・地球博物館 大島 光春〕
- 13:20～ 研究発表⑦ 伝統知と先端知が交わる知の交差点を目指して
～東京農工大学科学博物館の新たな試み～
〔東京農工大学科学博物館 棚橋 沙由理、齊藤 有里加〕
- 13:40～ 研究発表⑧ 地質標本館が伝える、人・地形・地質の関わり
〔地質標本館 森田 澄人〕
- 14:00～ 研究発表⑨ 「生物多様性情報の利用：世界の潮流と日本の現状」
〔国立科学博物館 細矢 剛〕
- 14:20～ 《 休 憩 》
- 14:30～ 《 総 括 》

ポスターセッション詳細

コアタイム時間 : 令和2年2月14日(金) 11:30~12:00

【会場】 (オーテピア5階 高知みらい科学館 サイエンススクエア)

海の保全活動団体と連携した科学館ならではの取り組みについて

[福岡市科学館 板垣 早織]

「出会いの場」であり続ける展示室—展示交流ってなに?から10年—

[滋賀県立琵琶湖博物館 中村 久美子、北村 美香]

「かはくのモノ語りワゴン」における外国語、障害者対応の取り組み

[国立科学博物館 相沢 紗百合、志津田 加奈子、園山 千絵]

宇宙素粒子系基礎科学の“聖地”からの多角的な発信

[ひだ宇宙科学館カミオカラボ 高知尾 理]

社会のニーズに寄り添う公開天文台～南阿蘇ルナ天文台の取り組み～

[南阿蘇ルナ天文台 宮本 孝志、武藤 祐子]

来館者とともに街に出て館内の展示を更新 「サイエンススポット」を蓄積する一連の取組み

[福岡市科学館 藤瀬 雅子]